



旅行好きのソムリエが、世界のあっちこちから  
死ぬ前に一度は見ておくべき町を厳選してご提案します。  
私があなただの次の旅をもっとわくわくさせますよ!

NYC  
一泊31・5ドルで  
ニューヨークに滞在する

夢と期待に胸を弾ませ世界中から様々な人種が集まる、眠らない街ニューヨーク。ミュージカル、ファッション、アート、どれをとっても世界の最先端を走り続けるこの街は、誰にとっても一度は訪れておきたい場所ではないでしょうか。早足で観光地を巡るだけでは分からないニューヨークの魅力を知るためにも、許されることなら数週間、数ヶ月の旅行計画を立てたいところですよ。とはいえ滞在期間の前に気になるのは滞在費用。ご存知の通りニューヨーク市の物価は世界的にもかなり高く、交通費や日用品の価格こそ日本とさほど変わらないものの(煙草は高いです、一箱10ドルくらい)、悩ましいのはそう、ホテルの宿泊費です。日本では1万円あれば宿泊できるいわゆるビジネスホテルがマンハッタンでは200ドル前後からでない見つからず、年間を通じて1泊200ドル以下のホテルを探すのはかなり困難。インテリアデザ

① エンパイアステートビルからの夜景  
②・③ タイムズスクエア  
④～⑨ ブルックリンの街並み、古着屋

インヤホテルブランドにこだわるとなると400ドル以上はみておいた方が良さそう。ニューヨークのど真ん中に滞在できるのは確かに忘れられない思い出になりそうですが、それにしても一泊400ドル！新しいコートが買える値段……。ホテルでの思い出作りはまたの機会にとっておくとして、今回私が利用したのは、Airbnbを使つてのブルックリンでの滞在です。

ニューヨーク市はニューヨーク州の最南端に位置する都市であり、市はブルックリン、ブルックリン、マンハッタン、クイーンズ、スタテンアイランドの5つの地区に分けられます。ニューヨークと聞いて皆がイメージするタイムズスクエアやセントラルパーク、毎晩ショーが開催されるブロードウェイなど主要な観光スポットのほとんどはマンハッタンに位置しており、映画やドラマなどで撮影される華やかなニューヨークの街並みは殆どがここで撮影されています。当然、家賃・物価などの平均値はニューヨーク市内でも最高値。交通の便も他の地区に比べて遥かに良い

ため、外から来た人間にとってマンハッタンに住居を構えるのは憧れです。最も人の出入りの多いニューヨークの中心がマンハッタンだとしたら、その東に位置するブルックリンは下町エリア。マンハッタンとはまた違った独特の文化があり、近年はアーティストや若者が多く住む地区です。元々工業都市だったブルックリンは、20年ほど前まではあまり治安が良くないと言われていましたが、現在は洒落たレストランやカフェも増え、地元の人々の生活感を感じられる住みやすいエリアとして人気を集めています。

滞在先はニューヨーク市内で、マンハッタンに近ければどこでもいい、と宿泊費を抑えることを重視してAirbnb（簡単に言えば民泊を仲介するサイト）を介してブルックリンに宿をとった私ですが、結果的にこの方法をおすすめできるかというと、うーん、自己責任でチャレンジしてみたいなら……と言わざるを得ません。というのも、民泊という性質上どうしてもホストとの相性はありますし、当たり前外れはあると思

います。しかしそれを踏まえた上でも旅先で地元の人のお泊まりさせてもらえる機会なんてそうそうありませんし、もし自分の気に入る宿に会えたなら格安の宿泊費で最高の思い出ができることを考えると、トライしてみる価値はあると思います。ちなみに私はブルックリンのブッシュウィックというエリアにあるマンションに宿泊していて、地元の人によるとあまり治安が良いとは言えない場所のようですが、壁の落書きや古着屋のディスプレイなど街を歩いているだけで生活に根付いたアイ

トが発見できて刺激のある毎日でした。宿泊費は2人で一泊63ドル。宿泊先でのルールと自分の身の安全は自分でしっかり守る、その気持ちがあればAirbnbもなかなか使えるな、と思つた体験でした。食費も馬鹿にならないニューヨーク、今回はアメリカなフードとドリンクのペアリング成功例をご報告します！

